

団 体 名	特定非営利活動法人 環境生態工学研究所																									
代 表 者	理事長 須藤 隆一																									
所 在 地	宮城県仙台市若林区新寺 1-5-26-104																									
事 業 内 容	<p>「惣の関ダムにおける鉄及びマンガンを対象とした水質改善対策の検討</p> <p>1. 目的</p> <p>ダムや湖等の閉鎖性水域における飲料水源としての水質の問題の中で、底質からの鉄及びマンガンの溶出に起因する汚染現象は、全国的に多数知られており、そのための経済効率等に留意した流域対策や湖内対策の必要性が注目されている。</p> <p>このような背景の中で、水質改善現地実験を実施する惣の関ダムは、宮城県宮城郡利府町森郷地先の砂押川水系勿来川に建設された多目的ダムである。宮城県が定期的実施している調査結果から、本ダム湖の水質については、①ダム湖の富栄養化現象及び②飲料水原水の水質(鉄及びマンガン)としての二つの課題が存在している。当NPO法人環境生態工学研究所(以下、E-TECと略す。)は、平成17年度から宮城県との協働により、本ダムの水質汚濁機構の解明、水質改善策の立案及び現地実証実験を継続的に実施してきた。</p> <p>本活動は、飲料水原水の水質(鉄及びマンガン)の流域対策についての現地実証実験を行い、その結果を基に、現実的な水質改善対策を立案することを目的とする。</p> <p>2. 惣の関ダムの水質</p> <p>平成12年度から21年度の直近10カ年の水質調査結果の解析から、本ダムの水質は鉄(以下、T-Feと略す)が0.5mg/L 水道水基準0.3mg/L、マンガン(以下、T-Mnと略す。)が0.4mg/L 水道水基準0.05mg/Lと両物質とも超過しており、飲料水の水源としては使用が困難な状況にある。このため水質改善対策を検討するために上流域の水質調査を行った結果、T-FeとT-Mnの発生源は上流右岸側に立地する複数の湧水であることが特定された。</p>	<p>3. 内容</p> <p>本活動は、「ロックウール浸透流による鉄、マンガンの除去」による水質改善対策の現地実証実験を実施する。</p> <p>なお、水質改善対策の選定に当たっては以下の事項に留意した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎水処理に要するエネルギー消費量が少ない。 ◎運転管理が容易 ◎建設・メンテナンス費用が安価 <p>表1 現地実証実験の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査地点</th> <th>調査時期及び頻度</th> <th>調査項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水 質</td> <td>ロックウール浸透処理施設の原水及び処理水(2地点)</td> <td>10月、11月、12月(計3回)</td> <td>T-Fe、D-Fe、T-Mn、D-Mn、pH、DO</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 期待される成果</p> <p>本活動の期待される主要な成果は以下に示すとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・惣の関ダムの環境条件に適した水質改善対策の開発 ・鉄及びマンガン汚染対策としてダムや湖等の閉鎖性水域だけでなく、応用範囲が広い方法として有効な知見が得られる。 ・運転管理が容易、建設・メンテナンス費用が安価な水質改善対策の開発 <p>2. 活動スケジュール</p> <p>本活動の主要なスケジュールは表2に示すとおりである。</p> <p>表2 活動スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>水質調査計画の策定、実験施設の設置</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>第1回水質調査</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>第2回水質調査</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第3回水質調査</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>水質調査結果の整理</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>活動報告書の作成</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>市民セミナーの開催</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度	調査項目	水 質	ロックウール浸透処理施設の原水及び処理水(2地点)	10月、11月、12月(計3回)	T-Fe、D-Fe、T-Mn、D-Mn、pH、DO	月	活動内容	9月	水質調査計画の策定、実験施設の設置	10月	第1回水質調査	11月	第2回水質調査	12月	第3回水質調査	1月	水質調査結果の整理	2月	活動報告書の作成	4月	市民セミナーの開催
調査項目	調査地点	調査時期及び頻度	調査項目																							
水 質	ロックウール浸透処理施設の原水及び処理水(2地点)	10月、11月、12月(計3回)	T-Fe、D-Fe、T-Mn、D-Mn、pH、DO																							
月	活動内容																									
9月	水質調査計画の策定、実験施設の設置																									
10月	第1回水質調査																									
11月	第2回水質調査																									
12月	第3回水質調査																									
1月	水質調査結果の整理																									
2月	活動報告書の作成																									
4月	市民セミナーの開催																									
事業実施期間	平成 23.9 ~ 24.4																									
事業実施場所	宮城県宮城郡利府町																									
事業総額	395,000円																									
助成金額	197,500円																									

団 体 名	川にやさしい浄化槽フォーラム埼玉	長浜市水生生物少年少女調査隊
代 表 者	代表 大石 昌男	指導者連絡会代表 鈴木 眞弓
所 在 地	埼玉県戸田市南町 3-20	滋賀県長浜市高田町 12-34
事 業 内 容	<p>浄化槽フォーラム地域協議会の実施</p> <p>1. 目的 合併処理浄化槽への転換と 11 条検査率の向上</p> <p>2. 内容 浄化槽フォーラム地域協議会を立ち上げ全県 71 市町村で実施する。県の担当+各市町村の担当者+登録業者+検査協会が参加する。3年計画で今年度は 14 を予定する。</p>	<p>環境フェアの開催</p> <p>1. 目的 子どもたちが川で遊び、楽しみながら川の中にすむ生き物を調べることによって、川の実態を知り、環境を見る目を養い、身近な環境への関心を高め、環境づくり活動のリーダーを育成することが目的です。 子どもたちが自ら川に入り調査することで、川の実態を知り、川を汚さない行動へのルールづけを図るとともに、環境を素直に見つめる目をもった子どもを育てる。 また、これらの活動を広く市民に知ってもらい、大人たちの川を汚さない、自然を大切にす行動へと波及させる</p> <p>2. 内容 市内 28 小学校の 4~6 年生の児童を対象に隊員を公募し、各小学校の本調査隊指導教諭 (水生生物少年少女調査隊指導者連絡会) が活動を指導しています。</p> <p>① 団員募集 (4~6 年生対象) 報告期限 5 月 9 日 (月) (活動報告書へ隊員名・活動予定回数を記載)</p> <p>② 指導者研修会 日時 5 月 24 日 (火) 午後 3 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分 場所 田根小学校 (当番校) 参加者 担当指導教諭 その他調査隊の調査用具等を配布予定 (隊員名札など)。 ※結成式については、各学校で実施。</p> <p>③ 水生生物調査 小学校ごとの校区内の河川の調査ポイントを、1 学期を中心として月 1 回程度調査し、川の生き物の種類や数などを調べて川の汚れ具合などを調査。</p> <p>④ 環境日記 調査活動や日常生活等で気づいたことや身のまわりの環境などについて感じたことを「環境日記」に記録</p> <p>⑤ 交流会 日時 夏期休暇中、8 月 8 日 (月) 午前 9 時 30 分 ~ 午前 12 時 場所 びわりゅうプラザ 内容 各校ごとに前期の活動報告や隊員による自己紹介、後期活動の抱負などを発表。</p> <p>⑥ 「子どもたちが調べる水辺の生き物」調査報告書の発行 原稿締切 1 月上旬締め切り予定 (3 月発行予定) 内容 水生生物調査等の活動内容及び環境日記等を各学校単位でとりまとめ、全校をあわせた形で調査報告書として発行。各小学校等に配布。</p>
事業実施期間	平成 23. 6. 1 ~ 24. 2. 15	平成 23. 4. 25 ~ 24. 3. 31
事業実施場所	県庁内及び各市町村の会議室	長浜市内
事業総額	420,000 円	703,500 円
助成金額	200,000 円	200,000 円

(社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 23 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	上林川を美しくする会	全国水源の里連絡協議会
代 表 者	会長 川端 勇夫	会長・佐伯市長 西嶋 泰義
所 在 地	京都府綾部市野田町須知山 110-10	大分県佐伯市中村南町 1 - 1
事 業 内 容	<p>上林川を調べて・知って、守り育てる活動事業</p> <p>1. 目的 京都府内有数の清流として知られている上林川が、近年生活排水の流入などにより、水質の悪化を懸念されている。流域の住民、市民、行政の協働により上林川に清流をよみがえらせ、子供たちに引継ぐことを目的とし、継続して活動を実施している。</p> <p>2. 内容 ①上林川の水質等の分析、水生生物・魚類の調査を実施し、上林川の現在の状態を把握する。 ②一般市民の協力、参加も得て、いっしょに上林川流域の葦刈り作業や清掃活動を実施することにより、上林川の景観の美化を図る。 ③会報等で積極的に上林川の情報を発信するとともに、水環境保全の啓発を行う。</p>	<p>情報誌「水の源」発行事業</p> <p>1. 目的 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念のもと、水源の里地域における振興と水環境等の保全に取り組む全国の自治体が連携し、水源の里振興の理念を国民運動として広げていく。</p> <p>2. 内容 森林や水環境保全に大きな役割を果たす水源の里地域の情報発信、交流、連携を図るため、情報誌を発行する。</p> <p>※名 称 「水の源」 (みずのみなもと)</p> <p>※目 的 ①水源の里の理念を全国に展開していく。 ②集落の情報を全国に発信していく。 ③下流(都市部)の皆さんの理解と協力を求めるとともに、交流を推進する。</p> <p>※発 刊 年 4 回</p> <p>※部 数 3,000 部</p>
事業実施期間	平成 23.5 ~ 24.3.31	平成 23.8 ~ 24.3
事業実施場所	綾部市地内	全国
事業総額	855,000円	2,580,000円
助成金額	200,000円	200,000円

(社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 23 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(社) 北海道浄化槽協会	(社) 茨城県水質保全協会
代 表 者	会長 的場 中	理事長 安斉 猛男
所 在 地	北海道札幌市豊平区平岸五条 7-7-10	茨城県水戸市石川 1-4043-8
事 業 内 容	<p>浄化槽啓発用ポスター及び標語の募集並びにポスターの制作</p> <p>道内在住の小・中学生を対象とした浄化槽に関する啓発用ポスターを募集するとともに、優秀作品を環境パネル展等で公表・掲示する。また、併せて標語についても、年齢制限をせずに募集する。</p> <p>入選したポスターの 4 作品及び標語の 1 作品については、啓発用のポスター及びクリアファイルとして作成し、広く道内の自治体や会員企業等を通して浄化槽の普及啓発を行う。</p> <p>なお、ポスター等募集にあたっては、浄化槽の説明資料を添付し、多くの道民に浄化槽を知る機会と参加を誘導する。</p>	<p>「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 2011」開催に伴う浄化槽の啓蒙活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浄化槽の模型展示 2. 浄化槽普及啓発パンフレットの配布 3. 浄化槽に関するパネル展示 4. 生活排水に関するクイズの実施 5. 水を汚さない為の工夫のチラシ配布 6. 浄化槽紙芝居の実演
事業実施期間	平成 23. 4. 1 ~ 24. 1. 30	平成 23. 8. 20
事業実施場所	北海道庁 1 階ロビー	霞ヶ浦環境科学センター (茨城県土浦市)
事業総額	444,319円	171,500円
助成金額	200,000円	85,750円

(社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 23 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(社) 群馬県浄化槽協会	(社) 静岡県浄化槽協会
代 表 者	会長 小倉 喜八郎	理事長 加藤 敬規
所 在 地	群馬県前橋市大友町 2-29-21	静岡県静岡市駿河区南町 18-1 サウスポット静岡 17 階
事 業 内 容	<p>身近な河川水質調査</p> <p>1. 目的 本調査は、地域住民の生活に身近な河川、水路等(以下、「身近な河川」という。)の水質を長期継続して測定することにより、浄化槽の設置推進が生活排水対策として効果的であり、公共用水域の水質の保全もしくは改善に寄与することを実証するために行う。調査の結果は、毎年開催される「環境&森林フェスティバル」及び「水よみがえれ!キャンペーン」等の場において発表する。</p> <p>2. 内容 (1) 選定 ・「市町村設置型」「個人設置型」該当市町村に係る身近な河川を原則とし、当該市町村の整備計画等をあらかじめ把握し参考とする。 ・群馬県が環境白書に発表した環境基準未達成河川に流入する身近な河川を対象とする。 ・家庭雑排水等以外の汚染源(豚房、工場等)がある身近な河川は対象としない。</p> <p>(2) 調査対象(身近な河川)の数 ・24以内(12支部 各2川)</p> <p>(3) 調査の方法等 ・採水箇所は、1河川につき、汚染に関する生活区域を想定(以下、「一定区域」という。)し、上流部下流部1箇所ずつとし、定点とする。 ・定点における採水及びその分析は、年1回とし、当面10年間継続とする。 ・水質分析項目は、生物化学的酸素要求量(以下、「BOD」という。)とする。 ・採水は、「採水記録票」に必要事項を記入する。 ・当該一定区域内の浄化槽等(単独:合併:くみ取り)の設置状況の変化の把握に努める。 ・採水作業は、当該一定区域に係る当協会の維持管理部会員もしくはその従業員が行う。</p> <p>(4) 水質結果の評価 ・環境基準値を参考とする。 ・群馬県環境白書に発表されている河川の水質結果を参考とする。</p> <p>(5) その他 ・水質の分析は、計量証明事業場に委託して行う。 ・試料は直ちに保冷し分析機関に搬入する。</p>	<p>「静岡県住まい博 2011」出展に伴う浄化槽の普及啓発</p> <p>1. 目的 「静岡県住まい博 2011」を「提案します!新しい暮らし」をテーマに、国土交通省主唱の「住生活月間」記念行事の一環として開催します。県民の皆様の豊かさを実感できる住生活の実現に向け最新で良質な幅広い情報を提供すると共に、住宅需要を喚起して住宅産業・住宅関連産業の振興を図っていきたくと考えております。</p> <p>2. 内容 (1) 小型合併処理浄化槽の実物大カットモデル及び浄化槽のミニチュアモデルの展示 (2) 浄化槽に関するパネルの展示 (3) 浄化槽普及啓発パンフレットの配布 (4) 浄化槽に関する相談コーナーの配置</p>
事業実施期間	平成 23.9.1 ~ 23.12.31	平成 23.9.17 ~ 23.9.19
事業実施場所	群馬県内	ツインメッセ静岡・南館
事業総額	426,000円	771,000円
助成金額	200,000円	200,000円

(社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 23 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(社) 静岡県浄化槽協会	(社) 静岡県浄化槽協会
代 表 者	理事長 加藤 敬規	理事長 加藤 敬規
所 在 地	静岡県静岡市駿河区南町 18-1 サウスポット静岡 17 階	静岡県静岡市駿河区南町 18-1 サウスポット静岡 17 階
事 業 内 容	<p>小学生を対象とした「水環境教育」、「浄化槽普及啓発」事業の実施</p> <p>1. 目的 焼津市内の小学校に出向き、児童を対象とした水についての環境教育を計画しました。一般家庭で使われた水はどのようにして川に流され、自然へ返っていくか？水環境についての知識を習得し、水の大切さを学んでもらうことを目的とします。</p> <p>2. 内容 (1) 水の学習コーナー (2) 浄化槽のミニチュアモデルコーナー (3) 小型合併処理浄化槽の実物大カットモデルコーナー (4) 浄化槽ビデオコーナー (5) 浄化槽カルタ大会</p>	<p>中学生を対象とした「浄化槽普及啓発事業」</p> <p>1. 目的 富士市内の中学校に出向き、生徒を対象とした水環境教育を計画しました。浄化槽の日の記念事業として、生活排水による水質汚濁と浄化の仕組みを学んでもらい一般家庭で使われた水はどのようにして川に流され、自然へと返っていくか？水の大切さを学んでもらうことを目的とします。</p> <p>2. 内容 (1) 合併処理浄化槽に関する科学的授業の実施 (2) 浄化槽PRパンフレットの配布 (3) 浄化槽の日を記念して、全校生徒に記念品を配布</p>
事業実施期間	平成 23. 7. 19、23. 9. 26	平成 23. 9. 30
事業実施場所	焼津市立和田小学校、焼津市立豊田小学校 焼津市立大井川東小学校	富士市立大淵中学校
事業総額	160,560円	376,300円
助成金額	80,280円	188,150円

全国浄化槽団体連合会 「平成23年度 水環境保全助成事業（審査ベース）」

団体名	(社) 兵庫県水質保全センター	(公社) 徳島県環境技術センター															
代表者	会長 谷口 正	会長 松原 義輔															
所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町 3-3-8	徳島県徳島市津田海岸町 2-33															
事業内容	<p>環境教育・浄化槽普及啓発パンフレットの印刷</p> <p>1. 目的</p> <p>(1) 兵庫県の環境学習環境教育基本方針（平成18年3月）に基づき、実際に見て、触れて、確かめて、何かを感じてもらおう企画を立案し、環境教育を実施する。</p> <p>(2) 「生活排水」と「水の循環」をテーマとして、兵庫県内の河川について簡易検査器材を用いて水質調査を実施する。</p> <p>(3) 調査河川は、汲み取り・浄化槽・下水道の生活排水処理形態が異なる流域から選定しており、各流域からの河川流入水が、河川の流量や水質にどのように影響を及ぼしているのか、検証することで浄化槽の普及を図る</p> <p>2. 内容</p> <p>中学生を対象に「生活排水」と「水の循環」をテーマとした河川での水質分析を行う環境教育を実施する。健全な水循環や公共用水域の水質保全に関して、各家庭等から河川への流入水が及ぼす影響を、調査検証することで浄化槽の普及を図る環境教育を行う。また、浄化槽を新たに設置される方を対象に浄化槽の7条検査等を推進するパンフレットや、浄化槽の管理者等を対象とした浄化槽の維持管理を推進するパンフレットを作成し、浄化槽管理者・行政・関係団体等に配布する他、イベント等で参加者に配布して浄化槽の普及啓発を図る。</p> <p>対象地域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>河川名</th> <th>調査区間</th> <th>生活排水処理の形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>姫路市 8月2日</td> <td>①林田川</td> <td>最上流から揖保川合流までの約30km区間（測定4箇所）</td> <td>上流域は浄化槽・汲み取り混在、中流域～下流域は、下水道・浄化槽・汲み取り混在</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">洲本市 8月8日</td> <td>①白馬水路</td> <td>上流～下流 約1km（測定2箇所）</td> <td>みなし浄化槽地域</td> </tr> <tr> <td>②都志川</td> <td>上流～下流 約1km（測定2箇所）</td> <td>合併処理浄化槽地域</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定項目</p> <p>水温（水温計使用）／電気伝導率（電気伝導計使用） 透明度（1m透視度計使用）／pH（パックテスト使用） アンモニウム体窒素（パックテスト使用）／亜硝酸体窒素（パックテスト使用） COD（パックテスト使用）／流量（流速計使用）／DO（DOメーター使用）</p>		河川名	調査区間	生活排水処理の形態	姫路市 8月2日	①林田川	最上流から揖保川合流までの約30km区間（測定4箇所）	上流域は浄化槽・汲み取り混在、中流域～下流域は、下水道・浄化槽・汲み取り混在	洲本市 8月8日	①白馬水路	上流～下流 約1km（測定2箇所）	みなし浄化槽地域	②都志川	上流～下流 約1km（測定2箇所）	合併処理浄化槽地域	<p>浄化槽啓発用DVDの制作</p> <p>1. 目的</p> <p>浄化槽の法定検査の受検率が低く、県民の汚水処理・水環境に対する関心の低さが長年の課題となっている徳島県では、早急な対応が急務となっています。そこで、当法人が毎年県内で開催している「浄化槽教室」（H23年度県内8会場にて52回開催予定）で、身近な水環境を守る為に必須となる「浄化槽の適正な維持管理」を受講者に学んでもらうと共に、各家庭での水環境への意識の高揚、毎日の実践につなげていくためのきっかけとなる映像ソフト（DVD）を制作する。DVDは浄化槽教室の他、各種イベントや小・中学校の環境学習、コミセンの生涯学習等、より幅広く県民への広報活動の教材として活用する。</p> <p>2. 内容</p> <p>コンセプト</p> <p>浄化槽教室受講者（鑑賞者）へのアプローチとして、物語のモデルをごく一般的な家庭とし、母子の何気ない日常会話から「浄化槽の大切さ」「適正な維持管理の必要性」を説明する内容で展開する。</p> <p>構成</p> <p>① 浄化槽とは？ ② 浄化槽のしくみと役割 ③ 浄化槽の正しい維持管理 ④ 家庭で実践！浄化槽と地球にやさしいエコライフ ※東日本大地震後、懸念されている東南海地震への備えとして「浄化槽」の安全性も提唱。</p> <p>メッセージ</p> <p>私達大人の心がけと行動が、子ども達の未来と地球の水環境を守る。「浄化槽でエコライフ！」21世紀のエコライフは浄化槽の正しい維持管理にあり！</p>
	河川名	調査区間	生活排水処理の形態														
姫路市 8月2日	①林田川	最上流から揖保川合流までの約30km区間（測定4箇所）	上流域は浄化槽・汲み取り混在、中流域～下流域は、下水道・浄化槽・汲み取り混在														
洲本市 8月8日	①白馬水路	上流～下流 約1km（測定2箇所）	みなし浄化槽地域														
	②都志川	上流～下流 約1km（測定2箇所）	合併処理浄化槽地域														
事業実施期間	平成23.8.2、8.8	平成23.7～24.3															
事業実施場所	姫路市立安富中学校、洲本市立青雲中学校	徳島県内															
事業総額	490,000円	600,000円															
助成金額	200,000円	200,000円															

(社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 23 度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(財) 福岡県浄化槽協会	(社) 鹿児島県環境保全協会
代 表 者	会長 三浦 正吏	会長 金子 万寿夫
所 在 地	福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬 966-2	鹿児島県鹿児島市錦江町 11-40
事 業 内 容	<p>浄化槽普及クリアファイル、エコバックの作成・配布</p> <p>1. 目的 浄化槽の普及啓発事業として、環境フェアや市町村窓口等を通じて、広く一般住民に対して、浄化槽の普及を啓発する。</p> <p>2. 内容 普及啓発事業で使用するために、浄化槽の啓発内容を記載したクリアファイル3, 200部とエコバック1, 000個を作成し、一般市民に配布する。</p>	<p>合併処理浄化槽への転換推進のためのリーフレット作成、配布</p> <p>3. 目的 既設単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換させるため。</p> <p>4. 内容 リーフレットを作成し、会員浄化槽管理者に依頼して、県内の単独処理浄化槽の全設置家庭に直接配布する。</p>
事業実施期間	平成 23. 4 ~ 24. 3	平成 23. 10. 1~平成 23. 12. 31
事業実施場所	福岡県内	鹿児島県下全域
事業総額	630, 840円	460, 000円
助成金額	200, 000円	200, 000円